

古代アメリカ学会 第20回研究大会・総会

12月5日 (土)

12月6日 (日)

- 12:00 <受付開始>
「東大アンデス考古学のかたち」展公開 (会場にて)
- 12:50 <式辞>
- 【調査速報の部】**
- 13:00 ペルー南海岸・インヘニオ谷における考古学調査
山本睦／松本雄一／坂井正人／ホルヘ・オラーノ (山形大学)、ヨシミツ・ホイヨ (山形大学ナスカ調査団)
- 13:20 ビスカパルカ地域とワンカ・ハサ遺跡における調査
土井正樹 (日本学術振興会特別研究員PD、山形大学)、マリルー・マルティネス・ゴメス (トリゴパンパ村考古学調査プロジェクト)
- 13:40 ペルー北海岸・北部中央海岸沿岸部における遺跡の広域調査：遺跡立地と漁撈、神殿建築
荘司一歩 (総合研究大学院大学博士課程)
- 14:00 海岸カハマルカと呼ばれる土器群について—中期ホライズン期中央アンデスの社会動態—
渡部森哉 (南山大学)
- 14:20 <休憩10分間>
- 14:30 ホンジュラス共和国ラス・ピラス遺跡出土のモザイク石調復元
平尾雅代 (金沢大学大学院博士課程、日本学術振興会特別研究員DC2)
- 14:50 二度の大噴火とサン・アンドレス遺跡：2015年の発掘調査から
市川彰 (名古屋大学)
- 15:10 ネサワルコヨトル像の形成に関する一考察
井上幸孝 (専修大学)
- 15:30 <休憩15分間>
- 【研究発表の部】**
- 15:45 アンデス形成期における神殿外部の儀礼空間に関する考察：カンパナユック・ルミ遺跡の事例から
松本雄一 (山形大学)、ジェイソン・ネスピット (テュレーン大学)、ユリ・カペロ・パロミーノ (ペルー国立サン・マルコス大学)、エディソン・メンドーサ・マルティネス (ペルーカトリカ教皇大学)
- 16:15 先古典期マヤ文明の宗教儀礼と石器製作：グアテマラのセイバル遺跡で先古典期中期に埋納された緑色石製磨製石斧と黒曜石製石器の供物を中心に
青山和夫 (茨城大学)
- 16:45 <研究発表終了 休憩15分間>
- 17:00 <総会 1時間>

- 8:00 <受付開始>
- 【調査速報の部】**
- 8:40 チャルチュアパ遺跡先古典期土器編年の再検討—エル・トラピチュエ地区出土土器の分析から—
深谷岬 (名古屋大学大学院博士前期課程)、伊藤伸幸 (名古屋大学大学院)、柴田潮音 (エルサルバドル文化庁考古課)
- 9:00 トラランカレカ遺跡2014-2015年調査概報
福原弘誠 (埼玉大学)、ホセ・フアン・チャベス・バレンシア (メキシコ国立人類学歴史学大学)
- 9:20 ニカラグア共和国、マナグア湖畔の考古学調査
長谷川悦夫 (埼玉大学)
- 9:40 <休憩15分間>
- 9:55 GISと天文シミュレーションソフトを利用したパレルモ遺跡の立地とランドスケープの関係分析
佐藤吉文 (京都外国語大学)、宮野元太郎 (芦屋大学)
- 10:15 ペルー北岸ワカ・パルティエーダ遺跡第3次発掘出土の自然遺物
芝田幸一郎 (神戸市外国語大学)、ビクトル・パスケス／テレサ・ロサレス (アルケオビオ研究所)
- 10:35 ヘケテペケ川中流域第7次調査：モスキート平原の形成期早期遺構の分布とその多様性
鶴見英成 (東京大学)、カルロス・モラーレス (ペルー文化省)
- 10:55 <休憩 15分間>
- 11:10 同位体分析によるラクダ科動物飼育の検証：ペルー北部高地パコパンパ遺跡の事例
瀧上舞 (山形大学)、鶴澤和宏 (東亜大学)、関雄二 (国立民族学博物館)、ダニエル・モラーレス (ペルー国立サン・マルコス大学)、米田穰 (東京大学)
- 11:30 ペルー北高地パコパンパ遺跡における「ヘビ・ジャガー神宮の墓」の発見
関雄二 (国立民族学博物館)、フアン・パブロ・ビジャヌエバ／ダニエル・モラーレス (ペルー国立サン・マルコス大学)
- 11:50 パコパンパ遺跡の儀礼的コンテキストから出土した動物骨資料：饗宴行為の動物考古学的復元
鶴澤和宏 (東亜大学)、フアン・パブロ・ビジャヌエバ (ペルー国立サン・マルコス大学)、長岡朋人 (聖マリアンナ医科大学)、関雄二 (国立民族学博物館)
- 12:10 <休憩90分間>
コンパクトAMS見学会 (総合研究博物館にて13:25まで)
- 【研究発表の部】**
- 13:40 ペルー北海岸におけるパブリック考古学の研究—ダニエル・ダンテ・サウセド・セガミ (国立民族学博物館)
- 14:10 アンデス形成期パコパンパにおける饗宴
中川渚 (総合研究大学院大学博士課程)、フアン・パブロ・ビジャヌエバ (ペルー国立サン・マルコス大学)、関雄二 (国立民族学博物館)、ダニエル・モラーレス (ペルー国立サン・マルコス大学)
- 14:40 ペルーパコパンパ遺跡から出土した人骨の生老病死の復元
長岡朋人 (聖マリアンナ医科大学)、森田航 (北海道大学)、関雄二 (国立民族学博物館)、鶴澤和宏 (東亜大学)、フアン・パブロ・ビジャヌエバ／マウロ・オルドーニエス／ディアナ・アレマン／ダニエル・モラーレス (ペルー国立サン・マルコス大学)
- 15:10 <休憩20分間>
- 15:30 古典期マヤの都市間ネットワーク：エル・パルマール遺跡の調査成果から
塚本憲一郎 (日本学術振興会特別研究員SPD、青山学院大学)
- 16:00 錬金術とインカ表象：「太陽神」表象をめぐる
大平秀一 (東海大学)
- 16:30 <閉会>



共催・東京大学総合研究博物館による関連イベント

「コンパクトAMS見学会」
2015年に導入された最新の年代測定装置を公開する。
12月6日 12:25-13:25 総合研究博物館1階、AMS公開ラボにて。

「東大アンデス考古学のかたち」展
東大アンデス研究の歩みを物語るコトシユ遺跡、クントウル・ワシ遺跡などの調査資料を展示。
12月5・6日、研究大会会場にて。